

びふか
三木合
です

こんにちは。

2016年2月号
北海道／美深町議会



美高卒業生に進学奨学金 2ページ

町政のここが聞きたい
一般質問に4議員 6~9ページ

委員会ではこんな調査が .. 10~11ページ

議会広報25年の紙面から① 13ページ

第96号

この議会広報は、地球にやさしい
再生紙を使用しています。

R 100
古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



携帯から見ることができるQRコードです。

議会広報データ <http://www.town.bifuka.hokkaido.jp/cms/section/gikai/index.html>

定例会



平成27年第4回定例会は12月7日から10日まで開催され、町側から条例の制定3件、条例の整備1件、条例の一部改正1件、諮詢2件、補正予算7件、指定管理者の指定3件、議会側から意見書1件、委員会報告2件、配布資料6件が提出され審議が行われた。



義高生への支援となる進学奨学金

進学奨学金を

**美深高校
振興に**

条例制定

美深高等学校卒業生 奨学基金条例

を見据えた、より特色のある新たな取り組みとして、大学等に進学する生徒に対して奨学生を給付し、社会に貢献する有能な人材育成と美深高等学校の教育

振興に資するため基金を設置する。

深高等学校を卒業後翌年度または翌々年度に大学等へ進学した者で、学業に誠実かつ真摯な態度で取り組み、向學心と将来性に富む者として学校長が推薦した者、大学等を卒業後、美深町に貢献しようとする者とされる。

大学進学は月額3万円、短期大学または専門学校は月額2万円を給付。

大学等の正規の修学年限とし、返還は要しない。

本条例は、産業教育常任委員会に審査を付託し、可とすべきものとして本会議に報告され賛成多数で可決され

産業教育常任委員会

可否同数、委員長判断で可決に

採決においては、委員の可否同数により、委員会条例第14条委員長評決を適用し、原案可決すべきと決した。採決時、委員2名による「少数意見の留保の申し出」があつた。

も合わせ慎重に内容審査を行つた。本条例の施行により美深高等学校への入学を促し、経済的理由による大学等への就学が困難な生徒を支援し、より有用な人材育成が図られるといった審議に達した。

岩崎委員 限4年以下
下の専門課程を置く
専修学校について、
『各種学校』が給付
の対象にならない。
『正規の修学年限
4年以下の専門課程
を置く専修学校』に
『学校教育に類する
教育施設で修学年限
が1年以上の各種学
校』を条例に加え明
記すべきである。

長岐委員 挽学生の資格要件として大学を卒業後、美深町に貢献しようとするものとなるが、これは削除すべきである。

付託された美深

（ 少数意見の留保

少数意見の留保とは…委員会の表決の結果、多数を得られず取り上げられない意見について、本会議において自ら少数意見として報告する権利を保持しておくこと。

第4回

学校図書の充実に (田村文庫新設)

条例制定

考
え
て
い
る。

故郷美深を思い多額

の寄付をされた田村氏
の名を後世に伝えるこ
ととした。

美深町学校図書等整 備基金条例

この条例は、美深町立学校及び美深町児童センターの図書の充実を図り、児童生徒の読書活動を通じた健全な教養の育成を目的として基金を設置し、計画的に図書を整備しようとするもので、基金の財源には東京美深会の田村一郎氏からの寄付金を充当している。

各小中学校と児童センターにそれぞれ田村文庫と称するコーナーを設けて、子供たちが図書に親しむ環境を作ること共に、将来子供達が立派な大人になつて美深町を担つてほしいと



今後更なる充実を図られることが期待される学校図書コーナー

産業教育常任委員会に付託され、委員会報告が全員一致で原案可決すべきものと報告され、委員会報告どおり可決された。

原案可決〔全員賛成〕

この条例は、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が条例に委任をして、いる個人番号利用事務の範囲を定めるほか、執行機関内の番号利用の連携、そして執行機関における特定個人情

報の提供など平成28年1月1日から始まる個人番号の利用開始にあたって必要な事項を定めるものである。

原案可決「賛成多数」
この条例は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行等の範囲を定めるほか、執行機関内の番号利用の連携、そして執行機関における特定個人情

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行等に伴う関係条例の整備について

この条例は、行政手続における特定の個人を認識するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、国保税の減免申請書や介護保険料の徴収猶予申請書などに個人番号記載が義務付けられる事になることから、これらに係る規定を改定するもの。

原案可決〔賛成多数〕

議会を傍聴して
あなたのご意見ご感想をお寄せください。

お問い合わせ

01656-2-1651 議会事務局

原案可決〔全員賛成〕

大きくこの3つの事項について追加改正を行ふもの。

この条例は、平成27年度の税制改正により、美深町税条例を一部改正する。
①地方分権の推進の観点から法律によって条例への委任事項が設けられたことによる規定の追加
②たばこ税(旧3級品)の特別税率の撤廃に関する改正
③番号の利用等に関する法律の施行に伴う個人番号及び法人番号を規定する

第4回 定例会



主な補正の内容（一般会計）

補正前の額	補正額	補正後の額
48億310万円	5276万円	48億5586万円

社会保険・税番号制度 中間サーバー整備負担金	439万円
後期高齢者医療給付費負担金	△1177万円
美深厚生病院運営支援補助金	△1308万円
色彩選別機整備事業補助金	△662万円
耕作者集積協力金	889万円
びふか温泉施設等改修工事請負費	500万円
美深高等学校卒業生奨学基金積立金	5000万円
美深町学校図書等整備基金積立金	2000万円

補正予算

質問
公共支援事業
給付金は、地域
おこし協力隊の担う事
業であつたが、シルバー
人材へ委託した経緯は。

企画G主幹
買い物
支援の宅

質問
都市計画費の
資材代としてあ
がつていいとの内容は。

配サービスと見守りを、
新しい協力隊により実
施していたが、事情で
退任しました。その後
も利用者が多いために
シルバー人材に委託。
経費を増額補正し、
3月まで実施したい。

建設水道課長
開発
が難しい状況で、V S
P事業の意義より、今
後市街地の緑化や都市
計画の観点から取り組
みたい。

建設林務G主幹
VS
P事業

で、開発・町・実施団
体で実施してきたが、
開発の予算事情により、
プランターの支援は可
能。

町は景観に配慮した
木製枠のプランターで
提案しているが、大き
いので、収納場所は町
の施設とする。使用する土は花壇を
撤去した土を利用し
てほしい。

質問
湯暖房ボイラー
改修について。

企画G主幹
今回の
改修はふ
るさと館のボイラ。補助的に使うもので



今後街並みを彩るプランター

V S P事業とは…「ボランティア・サポート・プログラム」の略称で、地域住民、企業等が実施団体となり、町及び道路管理者が協力し、清掃美化等の活動を行う事業。

原案可決〔全員賛成〕

議員
〔質問者〕 小口・長岐

企画G主幹
年以來の
改定で、事務局員の給
与改正が主で局長と職
員の手当も含まれる。
今回、前歴換算等を
し、新たに給与表への
給与の貼り付けを行つ
た。

質問
学校給食セン
ターの修繕費が
発生しているが、委託
契約先との過失基準は
どのようにになっている
か。

教育G主幹
事故は、
重大な過失がなかつ
と判断し、町加入の保
険を適用させた。

質問
観光協会職員
の待遇改善に伴

意見書を国と道に提出

JR北海道が進めようとしている『合理化案』の撤回と 経営安定のための更なる支援策を求める意見書

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、国土交通大臣、北海道議会議長、北海道知事

提出者 岩崎泰好議員
賛成者 藤原芳幸議員
和田 健議員

- ①JR北海道が進めようとしている合理化案を撤回し、地域を支える鉄道の再生に努めるようさらなる経営努力を行政の立場から強く申し入れをすること。
 - ②JR北海道の経営安定、自立経営の確保のために目減りした経営安定基金の運用益に相当する基金の手当てを確保継続すること。
 - ③JR北海道における鉄道車両、軌道用車両などの動力源軽油に対する軽油引取税については、現在の減免措置を経営安定の目安が立つまで継続すること。
 - ④JR北海道の鉄道用車両に対する固定資産税を当分の間非課税とする支援策を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

人権擁護委員に 村本修二氏 推薦に同意



人權擁護委員に 浅水重喜氏 推薦に同意



指定管理者の指定を可決

美深町コミュニティセンター指定管理者

指定管理者に管理を行わせる施設	指定管理者となる団体
第1コミュニティセンター	第1自治会
第3コミュニティセンター	(公財)美深町シルバー人材センター
第4・第5コミュニティセンター	美深町商工会
新生コミュニティセンター	新生自治会
仁宇布コミュニティセンター	仁宇布自治会
東改善センター	東自治会
南改善センター	南自治会
敷島改善センター	敷島自治会
富岡改善センター	富岡自治会
吉野地区農作業準備休憩施設	吉野自治会
斑渓改善センター	斑渓自治会
川西改善センター	川西自治会
玉川住民センター	玉川自治会
西紋改善センター	西紋自治会
大手改善センター	恩根内自治会
清水地区農作業準備休憩施設	恩根内自治会

指定期間は平成28年4月1日～平成33年3月31日(5年間)

美深町給水施設指定管理者

指定管理者に管理を行わせる施設	指定管理者となる団体
清水地区飲料水施設	清水水道管理組合
吉野地区飲料水共同利用施設	吉野水道利用組合
斑渓高台地区農業用水施設	斑渓高台水道管理組合
斑渓地区飲食用水施設	斑渓水道管理組合
紋穂内地区簡易給水施設	紋穂内地区簡易給水施設管理組合
仁宇布地区営農飲食用水施設	仁宇布地区営農飲食用水施設管理組合
川西地区営農飲食用水施設	川西地区営農飲食用水施設管理組合
美西地区営農飲食用水施設	玉川水道管理組合
東部地区営農用水給水施設	東部地区営農用水施設管理組合
雄木倉地区営農飲食用水施設	雄木倉地区簡易給水施設管理組合

雄不萬地区宮農飲雜用水施設 雄不萬地区簡便
指定期間は平成28年4月1日～平成33年3月31日(5年間)

いでは、上川北部全市町村が助成をしている。幼児については、土別・名寄はなく、それ以外の町村については助成している。

総務G主幹の道路で倒木があり、停電が朝6時から始まり9時44分復旧した。予防接種費用拡大による近隣町村の助成状況は。保健福祉G主幹者につき高齢

一般会計補正予算審議は、10月上旬の低気圧の影響による倒木処理と施設の修繕及び予防接種費用に対する助成の拡大が主なもの。倒木により一部地域で停電があつたが、被害状況と復旧は。

10月28日

第5回臨時会

① 美深の特色ある学校教育の推進について



藤原芳幸 議員

問 山村留学と地域の今後は

答 地域振興に学校は欠かせない

質問 生きる心を育てる教育を実践できる場として山村留学を実施し、この事業が仁宇布の地域振興に欠かせない存在となっている。

この状況をどのように捉えているのか。

教育長 教育的視点、地域づくりの視点から学校が地域にとって無くてはならない存在と認識している。大自然の中での教育環境はとても貴重なものであり、特色ある教育になると考える。

また、地域活性化の役割からも事業は継続していく方針である。仁宇布地区の課題も多く、町民とも合意形成しながら計画を立て進めていきたい。



美深高校生との交流事業
(美深幼児センター)

質問 美深には貴重な自然環境、開拓から自然と共に暮らしてきた歴史など教育素材が豊富にあり、教育に活かせないか。

また時代変化とともに失われつつあるものにも貴重な素材があるのではないか。

教育長 美深の特色ある教育を利用できないか。

では社会科の副読本を作り、自然、産業、歴史等を学習している。

実践教育ができる機会があるとの指摘だが、限られた環境の中で一定の努力をしている。

また、地域の中では少子化、人口減により子ども社会の中で切磋琢磨し成長する環境が減っている。

質問 美深には貴重な自然環境、開拓から自然と共に暮らしてきた歴史など教育素材が豊富にあり、教育に活かせないか。

また時代変化とともに失われつつあるものにも貴重な素材があるのではないか。

教育長 美深の特色ある教育を利用できないか。

では社会科の副読本を作り、自然、産業、歴史等を学習している。

実践教育ができる機会があるとの指摘だが、限られた環境の中で一定の努力をしている。



100周年を迎えた仁宇布小中学校

質問 美深高校の存続に向けた支援策として、今議会に新条例が提出されたが、奨学金を魅力的なものにするためには、やはり学力向上が基本と考える。

今後どのような取り組みをしていくのか。

教育長 奨学金は学校の魅力付けの一つではあるが、美深高校が普通高校であり、学校の役割としては学力向上で進学を目指す生徒が増えることが学校の魅力となり生徒確保に繋がると考えている。

具体的な取り組みは現在、高校側と協議をしている。

一般質問

町政のこころが聞きたい



小口 英治 議員



町の看板 びふか温泉
チョウザメ御膳

- ①『美深産』のブランド化・販路拡大の方策
②交流サロンの必要性について

これが美深だと言つものが欠けている

このままでは埋没の懸念があるのではない

設・加工施設整備を進め、ブランド化を進めながら関連産業の振興、雇用の場の創出を進めていく。

農・商・役場協力の中 応援体制を強化

質問

東京国際フォーラム物産展参加、

太田市のスバル関係ス

ポレク祭の物産展等、

販売戦略・商品開発・

ブランド化をどう進め

町長

販売員が固定されていない点

も含め、整理の仕方、

我町のブランドとしての位置付け等、今後の課題と認識している。

魚種や飼育方法も違うが美深と同じに30年間試行錯誤の末、商品化になっている地域がある。

質問

チヨウザメに関していえば、数年前より役場職員、民間業者、温泉職員、数人の議員も視察している。

答

複合的な高齢者住宅が必要ではどこまでが福祉か

質問

商店街区の空洞化の懸念は過去にも指摘したが、今

質問

商店街区の空

洞化の懸念は過

去にも指摘したが、今

が全国的に必要との指摘があるなか、高齢者住宅の機能を兼ね備えた複合的な施設が必要なうが考えは。

中高年の交流サロン

後益々深刻な状況が懸念される。

中高年の交流サロン

が全国的に必要との指

摘があるなか、高齢者住宅の機能を兼ね備えた複合的な施設が必要なうが考えは。

質問

高齢者の声として除雪・買い物・住宅整備など大きな課題があるが。

大変な課題と認識しているが、除雪は他の自治体に比べ遜色のない対応をしている。

質問

大変な課題と認識しているが、除雪は他の自治体に比べ遜色のない対応をしている。



交流施設で期待される「かぜる」

えは
③子ども議会開催の考

このほか1項目の質問

このほか1項目の質問

町長 常設している会館等もあるが、利用度の低い地区もある。

COM100・旭町

ふれあいステーション・ほっとプラザ等もあるので、活用してほしい。

①100周年を迎えた仁宇布小中学校の校舎
改築改修は何時どのような形で実現するのか



岩崎泰好議員

問

教育環境整備は
喫緊の課題と考えているか

答

課題は認識しているが
合意形成への環境づくりを



教育環境の一日も早い実現が求められる
授業中の教室

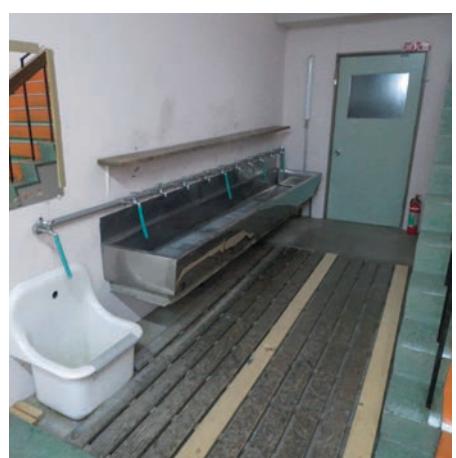
質問
教育行政のさまざまな課題が一つ一つ解決していく中で、仁宇布小中学校校舎の改修は残された課題の中で最大のもの。
子どもたちの教育環境整備は、何を置いても一番の問題として解決に向かわなければならぬ。
①改修改築を含めて、子どもたちの教育環境整備は喫緊の課題と考えているか
②計画策定を含めて、現在までの進捗状況は

教育長
学校を存続させていくと、校舎の建て替えということが必要な状況で、本当に大きな課題。喫緊の課題と認識しております、地域の方々がそういう気持ちでいることも理解している。地域としても今ひとつしっかり合意形成をしていただくことが必要。

町長
今の段階の進捗状況は、明確な計画を策定しているという段階ではない。総合計画の後期の方に盛り込んでいる状況

議会は議会として一定の議論がされているのだろうと思うが、逆に言えばその辺の議論も聞かせて頂ければありがたいと思うし、そういう事を含めて総体の環境づくりだと思う。

このほか2項目の質問
②移住定住政策の課題と方向性は
③胃がん検診に、胃がんリスク検診(A,B,C検診)を導入しては



冬季間閉鎖の屋内水飲み場

一般質問

町政のこころが聞きたい



和田 健 議員

- ①木質バイオマス推進における将来的な展望について
②介護ボランティア制度の導入について

質問 日本共産党道議団と共に視察した林産協同組合の原木ヤード拡張や、保管ヤードの整備が進む中、木質バイオマス事業に関わる雇用拡大計画もあり、町内への経済的波及効果が期待できる。チョウザメと並ぶ主要産業になり得ると考えるが、若い世代へ夢を与えるこれから展望は。

問

答 町林業の長い伝統をもとに努力していく

現場の声を聞ききめ細かな支援が必要では

のやりがいを引き出し、事業の発展性、継続性をより確かなものにすると考えるが。

質問 区の道有林作業現場も視察の際、現場の作業員から作業路の整備が必要との要望があり、道との連携で改善がなされていく。



機械化が進む間伐作業

町長 木材業界は一時下火であったが、近年、機械化や大型化が進みこれらの進展が期待できる。我が町は農業と合わせて、ひふか温泉のバイオマスボイラーや、恩根内の住宅利用も合わせ考えていく。

町長 激励会などで民間事業者や各団体とも懇談し、労働基準監督署から安全対策の講習を受けたなど、道内でも先進的な取組みを行っている。美深町の林業施策の長い伝統の中、今後とも努力していきたい。

問

答 町独自の見極めながら我町の施策を進める

介護士確保の取組みは

質問 高齢者に委ねる介護ボランティア制度は、将来的に介護制度がパンクしてしまうという状況を打開する施策として国が進めようとしているが、

質問 国の介護ボランティア制度には懸念がある。町内でも介護施設が増え、今後も増えると予想され、我が町としての福祉対策に一層努めしていく。

質問 介護現場では、過酷な労働条件が伴い、全国的にも介護福祉士の不足が言われている。町内でも、介護士の補充は、応募が少なく、すぐに辞めてしまうと聞くが対策が必要ではないか。



職員不足解消が課題の介護現場

レポート

総務住民常任委員会

現在、斑渓14線東3号と10線東1号は「一時停止」標識の設置について協議中と説明を受けたが、その他の交差点については、危険度の高い順に警察、道路管理者と順次安全対策を図るべきである。農村部における農作業機械の走行に対する注意喚起、特に右左折の喚起、対策が今後必



一時停止の改善が必要な
10線東1号道路交差点

協定を結んでいるところの説明を受けた。その他災害時の協定先として、日

制について災害時の連絡は、予報や災害情報を防災末端で周知し、迅速・的確に情報を提供することにより、生命の安全と大切な財産を守れるよう早い段階で情報を発信すべきである。

所管事務調査

調査事項

- ①交通安全対策について
- ②町の災害対策について

調査日

11月18日

調査事項①
交通安全対策について
町内の事故発生個所を検証し、今後の事故防止策を調査するもの。

調査の内容

①町内危険個所の現状と今後の課題
町内の標識のない交差点状況と過去3か年の人身事故発生状況の

①町内の危険個所の現状と今後の対策について
町の災害対策について

調査のまとめ

担当課からは、町道における年数の古い歩道は狭く、傾斜もあるため現状の歩道を確認し、安全対策を図つていく考えが示された。

①災害時の備品等の整備状況
洪水等の災害時の備品等整備状況及び災害時に利用できる物品を調査し、住民対策がどのようにになっているか

調査の目的

調査事項②
町の災害対策について
あるため期限間近のものは避難訓練等の際に有効に使用すべき。

災害時の停電対策については北電・開発局等と連携を組んでいく。また、非常時対応の発電機に関しては上川

調査のまとめ

①災害時の備品等の整備状況
平成26年度より、5年計画において整備していくとし、災害時の利用できる物品は各団体と協定を結んでいるが、今後協定先とのシミュレーションやフロー

北海道コカコーラボトリング(株)、北海道J-Pガス協会、上川地方石油業協同組合、郵便局、上川管内町村会(19町村)、開発局等と協定を締結している。

調査の内容

要である。

②歩道の安全対策

現状の歩道を調査確認し、電動車いす等の利用があるため、今後の対応をどのように考えて

いるかを調査。

②歩道の安全対策

認し、電動車いす等の対応を含めたバリアフリー化に向けた安全対策を図るべきである。

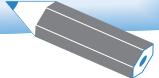
①災害時の備品等の整備状況
平成26年度から5年間をかけて整備を進めしていく計画であったが、非常時の米等の備蓄食品の賞味期限が5年であるため期限間近のものは避難訓練等の際に参加者へ配布するなど有効に使用すべき。

北海道コカコーラボトリング(株)、北海道J-Pガス協会、上川地方石油業協同組合、郵便局、上川管内町村会(19町村)、開発局等と協定を締結している。

所管事務調查

調查事項

①まち・ひと・しごと創生総合 戦略の取り組みについて



美深町人□ヒシミンジン
に 関わる「目指すべき
将来の方向」の具体的
課題と解決策について
の協議。

調査の目的

まち・ひと・しごと創
生総合戦略の取り組み
について

11月19日 10月28日

調査目



可能性を求める 期待する農業支援塾



委員会

產業教育常任委員會

調査の内容

「美深町人口ビジョ

「」及び「美深町まち・ひと・じー」と創生総合戦略」が示され、産業の活性化、教育の方、それに伴う人口対策等の方向性について調査するもの。

「美深町から示された
「美深町まち・ひと・
しごと創生総合戦略」
は
くる

④ 紛の強い地域へくり
この4つの基本目標
に関する施策の基本的
方向と主な事業、評価
指標が示されている。
本町における「まち・
ひと・しごと創生」の
実現に向けた、今後5
年間の目標や施策の基
本的方向及び施策に關
係する項目を取り上げ、
それぞれの現状、課題、
必要性及び方向性につ
いて調査を行った。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ①チョウザメ振興 | ⑧美深野菜ブランド化の取り組み |
| ②中心市街地の空洞化対策 | ⑨対面によるスポーツ行政の充実 |
| ③農業支援塾の展望について | ⑩山村留学の充実 |
| ④農業の6次産業化による雇用の場の創出 | ⑪美深高校の教育充実 |
| ⑤ハーブを活用した産業振興について | ⑫スキー場景観整備の付加価値化 |
| ⑥エネルギー資源としての木材の活用 | ⑬特色ある教育の実践 |
| ⑦淡水魚を活用した産業の振興 | |

この調査は3月まで継続して行われる。

政務活動情報を共有 他市町村の事例に学ぶ

議員会報告会

1月27日、議員会主催による政務活動報告会が行われた。各テーマで行政視察報告を行い議員同士の情報を共有した。



綾町のふるさと納税・
小林市のチョウザメ事業
観察地
宮崎県 綾町・小林市

和田 健

サービス付き高齢者住宅を町立病院に併設へ
観察地
奈井江町 岩崎 泰好



議会の動き・予定

- 11/18 総務住民常任委員会
所管事務調査
11/19 産業教育常任委員会
所管事務調査
11/30 議会運営委員会
12/2 全員協議会
12/3 上川北部消防事務組合
12/3 上川北部衛生事務組合
12/7 ~10 第4回定例会
12/7 本会議 一般質問
12/8 産業教育常任委員会
(付託事件審査)
12/10 議会運営委員会
12/10 本会議 議案審議
12/10 議会広報特別委員会
1/12~15 議会広報特別委員会
1/19 産業教育常任委員会
所管事務調査
1/27 全員協議会
1/27 議会運営委員会
1/27 第1回臨時会
2/12 総務住民常任委員会
所管事務調査
2/26 COMカレッジ110
美深大学と議員との懇談会

務められ、ホウレン草と小松菜について講義されていました。栽培環境や栄養素、営農品目としての適性や判断など、専門ではない私も理解しやすい内容でしたので、休憩を挟んだ2時間が直ぐに過ぎてしまいました。

野菜や食に興味を持っていた私は、友人が、奈良市の農業家を紹介してくれました。彼は、地元の伝統野菜を種から



今年開設して間もない農業支援塾にお邪魔しました。農業改良普及センターの笹村主査が講師を

収集し、地域の農家の方々と協力して栽培を始め、およそ十年の歳月をかけて事業化を図っています。機会があつて、その農業家が経験した話を聞くことができました。

気候や食文化が違う日本には、まだ私が知らない野菜が数多くあるのだろうと思いますし、北海道は開拓から一五〇年ですから、北海道野菜の歴史 자체がまだ浅いのだと思います。講義の後に、若い受講者が熱心に質問していました。今年の雪が解けたら、彼らはどんな野菜を作り、私たちの食を楽しめてくれるのでしょうか。



私のメッセージは、創刊号から96号まで170人の町民の皆さんからの投稿を頂いた。若かり頃の顔・懐かしい顔・思い出の顔・顔・顔…99号まで連載します。





私たちのメッセージ

成人を迎えたお2人に
メッセージをいただきました。



成人を迎えるより成長を

第1自治会

砂子正樹

成人を迎える感謝しこれからも努力

第5自治会 武藤花苗

私は高校卒業後、すぐ地元の美深町役場に就職しました。役場を選んだ理由は、中学校のときの職場体験でした。役場の仕事を選んでいた。役場の仕事に関する詳しいわかりませんでしたが、もども興味がありここで働いてみたいと思います。

私が、この2年で役場の仕事はもちろんのこと、社会人としての常識など多くのことを学ぶことができました。私は、アルバイトの経験もほとんど無く働くことに関しては初めてでした。

働き始めて特に感じているのは、人とのコミュニケーションが職場の人たちのアドバイスを聞き実践し成長していると感じています。

これからも、周りの輩にたくさんのこと教えていただけるような人に成長したいと思っています。

私は、色々な面でまだ未熟な部分がたくさんありますので一つ一つ物事を覚え知識を蓄え、美深町に貢献できるように頑張ります。そして、これから後輩にたくさんのこと教えていただけるような人に成長したいと思っています。

私は、色んな面でまだ未熟な部分がたくさんありますので一つ一つ物事を覚え知識を蓄え、美深町に貢献できるように頑張ります。そして、これから後輩にたくさんのこと教えていただけるような人に成長したいと思っています。

編集後記

私は美深町で生まれ育ち、美深高校を卒業しました。人の役に立ち、人を笑顔にしたいと思いつい、現在は町内で介護の仕事をしています。仕事は入浴・排泄・食事の介助しかしイメージ

できませんでしたが、実際はそれらを行う為の小さいけれど重要な仕事があり、少しの気の緩みで事故に繋がるので、自分の行動に責任のある仕事だという事をも働いて分かりました。

と思うことがあります。でもそんな時はみんな大変で自分だけだと思わない。一人でも必要としてくれる人がいて、笑顔を見られれば、目標達成している。と明るい思考を心がけています。これから、1年と少し働く前は、介護の仕事をして、時には悲しくなり、向かない

資格を取る権利が与えられるので、働きながら勉強して合格したいです。一度きりの人生なので色々な事に挑戦したいです。

最後に、私は今年で成人という人生の一区切りを迎えます。この町で両親の元に生まれ育つて、温かい方々に支えられている事に感謝しています。これからも、周りの人々に支えられている事を誇りに思い、何事も頑張りたいと思います。



思いを受け継ぎ、1992年4月発行から数えて、まもなく100号になります。